

学術シンポジウム

# 20世紀 日本 と

*Japan in the 20th Century and Western Music Theory*

# 西洋 音楽理論

第1部 シンポジウム&ミニコンサート  
近代日本と西洋音楽理論  
超領域的展開の試み

第2部 国際シンポジウム International Symposium  
相互文化主義と「洋楽」研究の現在  
東西二元論とその超克

Interculturalism and Yōgaku Studies Today: East–West Binary and Beyond

# 20世紀日本と西洋音楽理論

*Japan in the 20th Century and Western Music Theory*

第1部 (10:00-12:30) シンポジウム&ミニコンサート

## 近代日本と西洋音楽理論——超領域的展開の試み【日本音楽学会2022年度支部横断企画】

近代日本音楽史研究では、西洋音楽受容について多様な研究が蓄積されているが、その中でも西洋音楽理論の受容や、日本と西洋の理論上の相互作用については研究が少なく、なお未知の部分が多い。そこで、近代日本音楽史と西洋音楽理論の双方の領域から、複数の地域を対象として、演奏を交えつつ領域横断的にこのテーマにアプローチする。(コーディネーター：仲辻真帆・西田紘子)

- ◆ 東京音楽学校における西洋音楽理論受容 | 仲辻真帆 (東日本支部、東京藝術大学)
- ◆ 『在野』作曲家の音楽語法形成——早坂文雄を例として | 竹内直 (西日本支部、京都市立芸術大学)
- ◆ フーゴ・リーマン周辺にみる日独の音楽理論交流 | 西田紘子 (西日本支部、九州大学)
- ◆ 中国知識人における西洋音楽理論と『中国音楽』 | 新居洋子 (非会員、大東文化大学)
- ◆ コメント | 塚原康子 (東日本支部、東京藝術大学)
- ◆ ミニコンサート [12:00-12:30]: 信時潔・早坂文雄ほかの作品 | 演奏者: 松岡あさひ (ピアノ、東京藝術大学) + 松岡多恵 (ソプラノ、東京藝術大学)

後援: 京都市立芸術大学日本伝統音楽研究センター 助成: 日本音楽学会/科学研究費補助金基盤研究C (20K00128 西田紘子/20K00062 新居洋子)/サントリー文化財団若手研究者のためのチャレンジ研究助成 (仲辻真帆)

第2部 (13:20-16:00) 国際シンポジウム (International Symposium)

## 相互文化主義と「洋楽」研究の現在——東西二元論とその超克

### Interculturalism and Yōgaku Studies Today: East-West Binary and Beyond

近年海外で関心が高まる日本の「洋楽」研究。様々な文化的背景をもつ研究者どうしの議論を通して、フランス近現代音楽を中心とした西洋と東アジアの芸術音楽における異文化間研究の在り方を探り、東西二元論にとらわれない解釈の方法と視点を提示する。(コーディネーター：安川智子)

Research on Japanese Western music (*Yōgaku*) has attracted increasing interest abroad in recent years. Through discussion with an international panel of scholars, the session explores intercultural research in Western and East Asian art music focused on French modernist music, offering interpretive methods and perspectives that move past the prevailing notion of East-West dualism. (Coordinator: YASUKAWA Tomoko)

- ◆ Keynote Speech: Toward an Intercultural Approach to Music Analysis: Music by Unsuk CHIN and Toshio HOSOKAWA (基調講演: 相互文化的な音楽分析に向けて——陳銀淑と細川俊夫の音楽を例に) | ヤヨイ・ウノ・エヴェレット Yayoi U. EVERETT (ニューヨーク市立大学 The City University of New York)
- ◆ The Complexity of Modernity in Kunihiko HASHIMOTO's Prewar Songs (橋本国彦の戦前歌曲におけるモダニティの多様性) | ラッセ・レヘトネン Lasse LEHTONEN (ヘルシンキ大学 University of Helsinki)
- ◆ ペンタトニック和声の可能性——理論と実践の試みと「東洋風」からの脱却 (Possibility of Pentatonic Harmony: Attempts in Theory and Practice at Supplanting Orientalism) | 安川智子 YASUKAWA Tomoko (北里大学 Kitasato University)
- ◆ Japanese and Chinese Ritual Music in MESSIAEN's *Sept haikai* and *Et exspecto* (メシアン《七つの俳譜》《われら死者の復活を待ち望む》における日本と中国の儀式音楽) | 張 惠玲 CHEONG Wai Ling (香港中文大学 The Chinese University of Hong Kong)
- ◆ メシアン、デュティユー、武満における時間の表象 (Conception of Time in MESSIAEN, DUTILLEUX and TAKEMITSU) | 藤田 茂 FUJITA Shigeru (東京音楽大学 Tokyo College of Music)
- ◆ コメント (Comment) | 長木誠司 CHŌKI Seiji (東京大学 The University of Tokyo)

主催: 科学研究費補助金基盤研究C JSPS KAKENHI (C)「20世紀日本におけるフランス音楽文化モデルの存在と役割——箕作秋吉評価を出発点に」(20K00234 安川智子) / 「現代音楽のフォルムの想像力——メシアン・デュティユー・ブレーズの言説と草稿の検証」(20K00133 藤田 茂) 助成: CUNY Hunter College Presidential Award (Yayoi U. EVERETT) / “The development of musical modernism in Japan (1930-1950)” GRF project no. 14613522 (CHEONG Wai Ling)

協力: 東京藝術大学 後援: 日本音楽学会 お問い合わせ (for inquiries): symposium.jwmt@gmail.com

お申し込み (Application form) [参加無料/要事前登録]: <https://forms.gle/LNmFZEb6weMwudBNA>

お申し込み締切: 2023年3月17日(金) 17時

簡易ハイブリッド形式 / ◇は英語発表 (通訳なし)

会場アクセス: JR上野駅公園口・鶯谷駅下車徒歩10分、東京メトロ銀座線・日比谷線上野駅下車徒歩15分、京成電鉄京成上野駅下車徒歩15分

デザイン: 岩本馨



お申し込みリンク  
Application form



アクセスマップ  
Access